

5. 遊水効果の検証

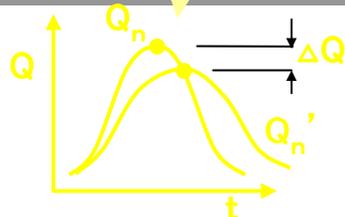
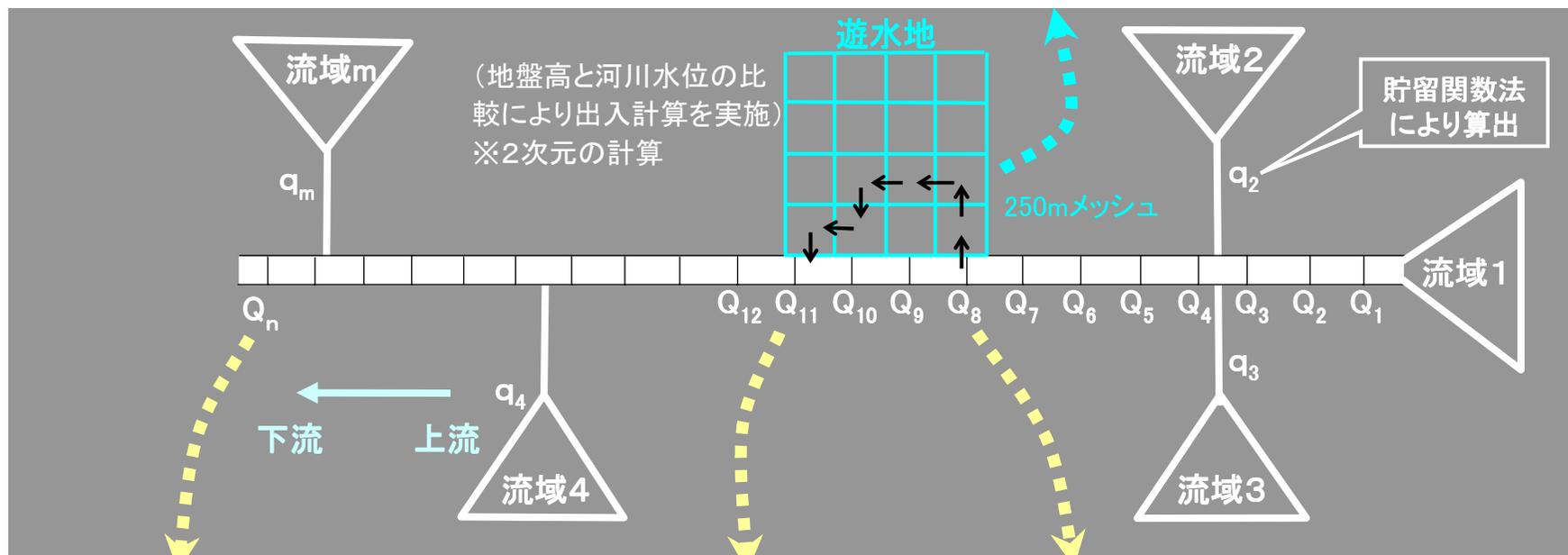
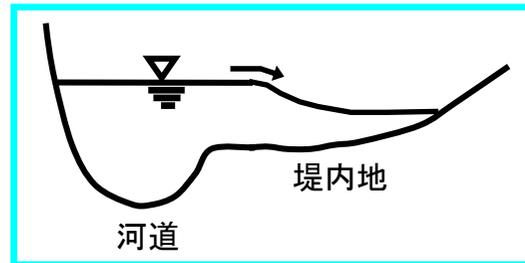
前述した上野地区及び安田嶋地区の遊水効果の検証を行うために、以下の条件での検証を行う。

● 検証条件

- ・解析手法 : 氾濫解析(二次元不定流計算)
- ・対象降雨条件 : S34.9洪水 × 1.0
- ・大滝ダム条件 : 2,500m³/s一定放流
- ・河道条件 : S34.9洪水 × 1.0の対策後
(上野地区及び安田嶋地区の対策を除く)

● 洪水解析モデルについて

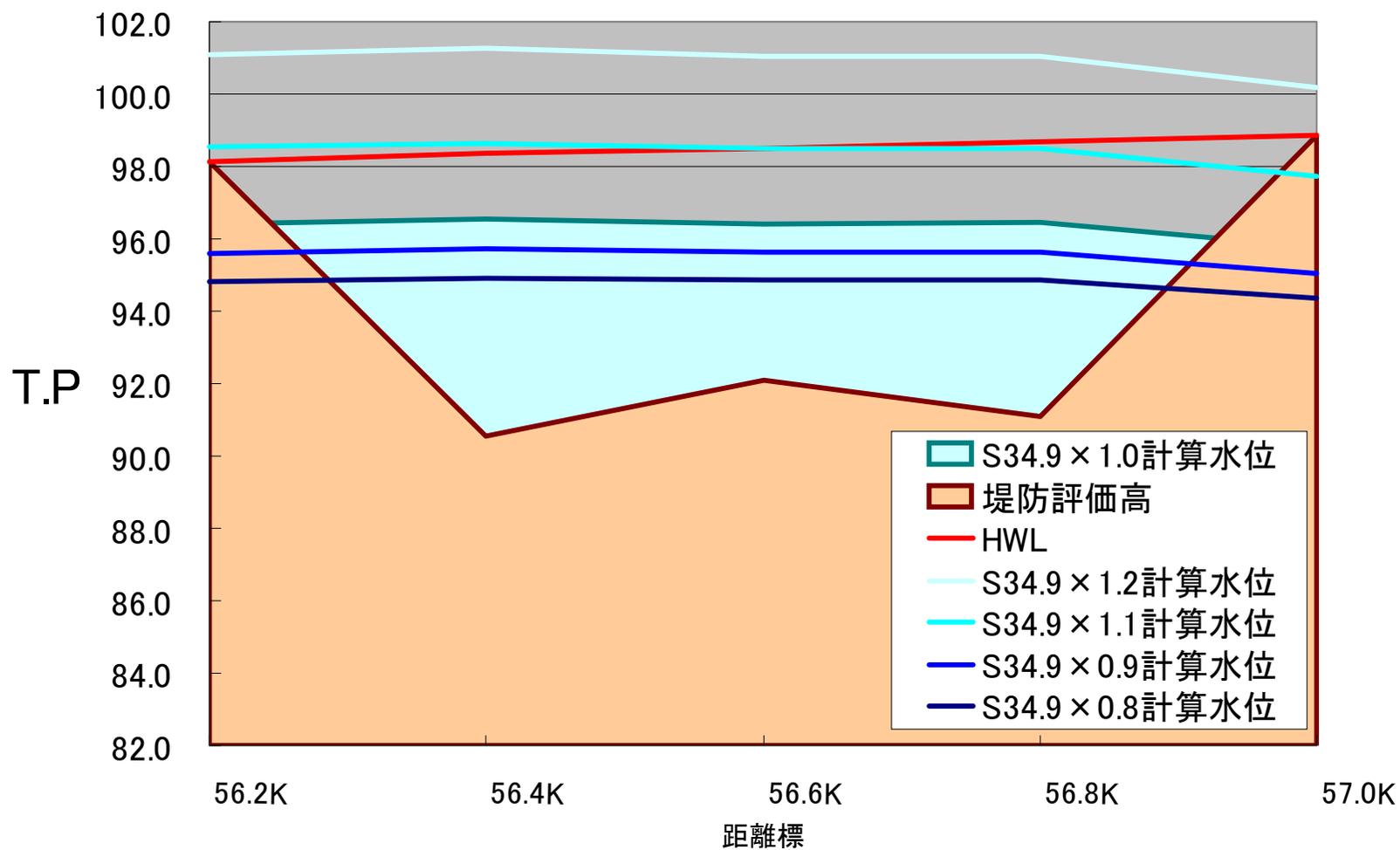
▼ 氾濫解析モデル



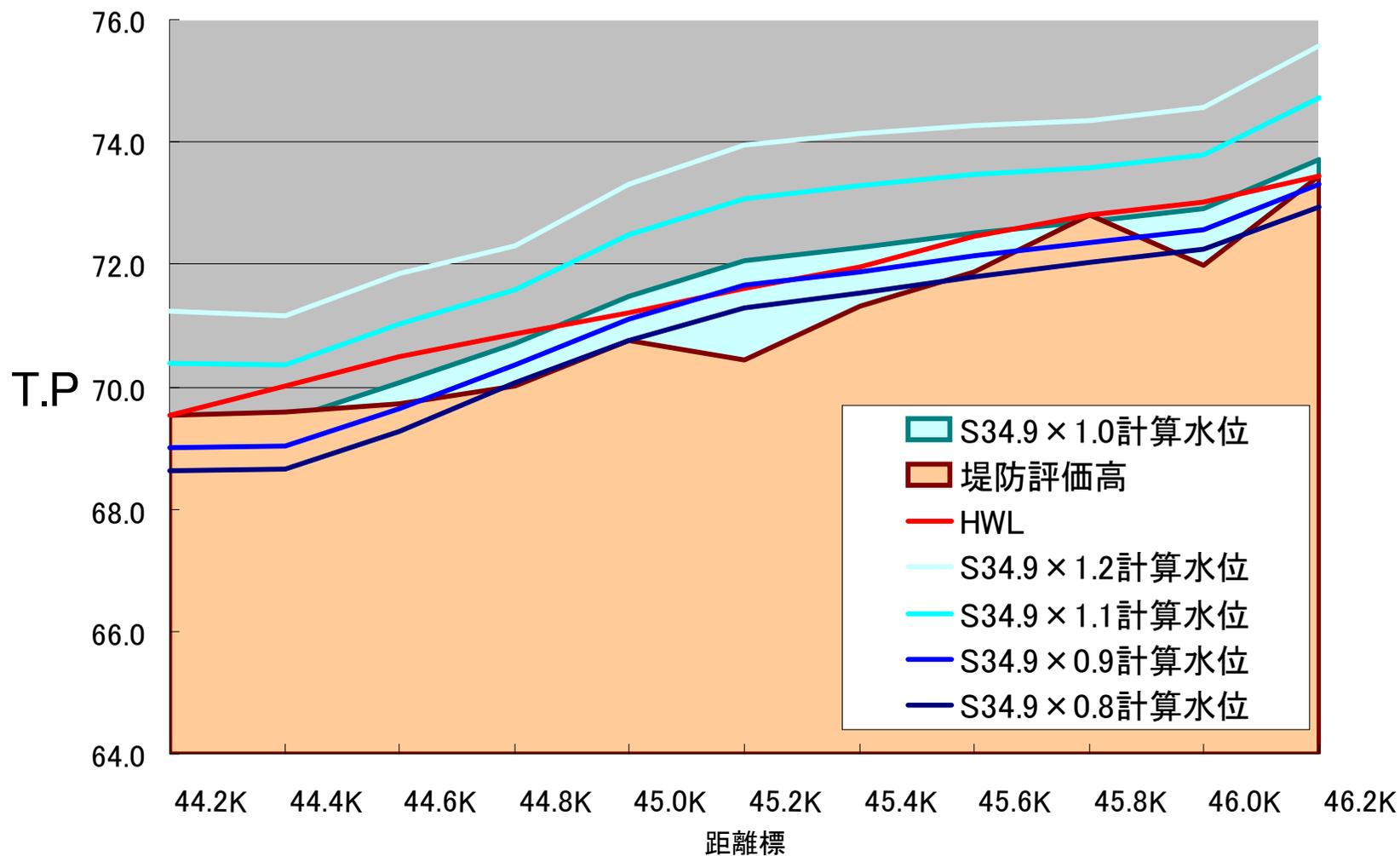
Q_n' : 遊水地がない場合
 Q_n : 遊水地がある場合
 ΔQ : 遊水地による効果

●堤防と水位の関係

○上野地区



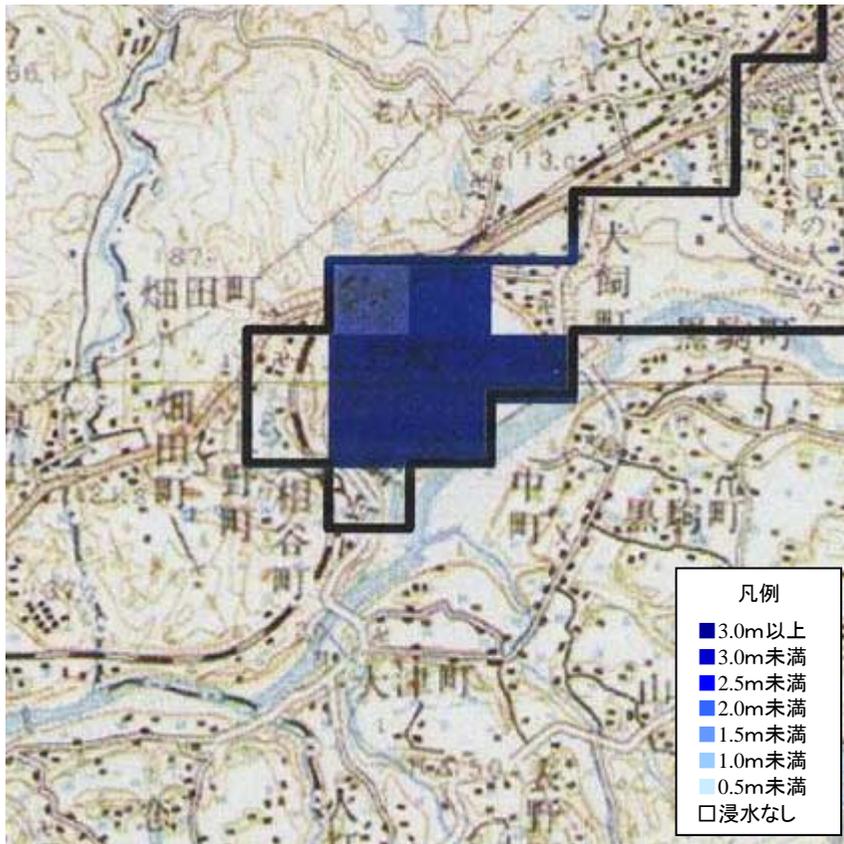
○安田嶋地区



● 氾濫状況

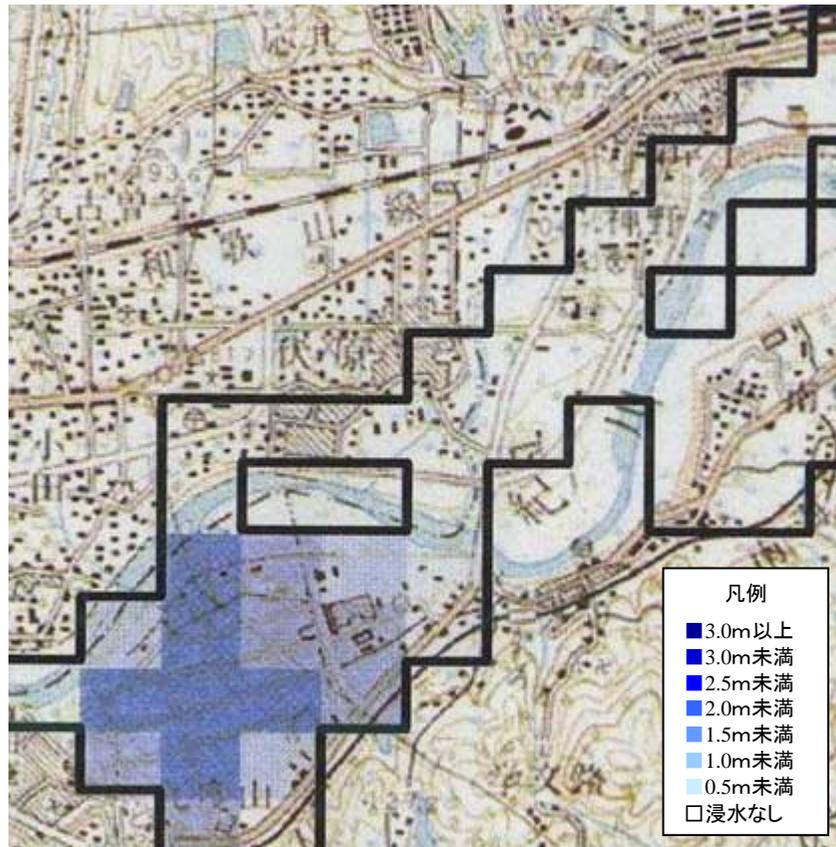
○ 上野地区

上野地区及び安田嶋地区の対策を施さない場合の氾濫状況は、以下のとおりである。



○安田嶋地区

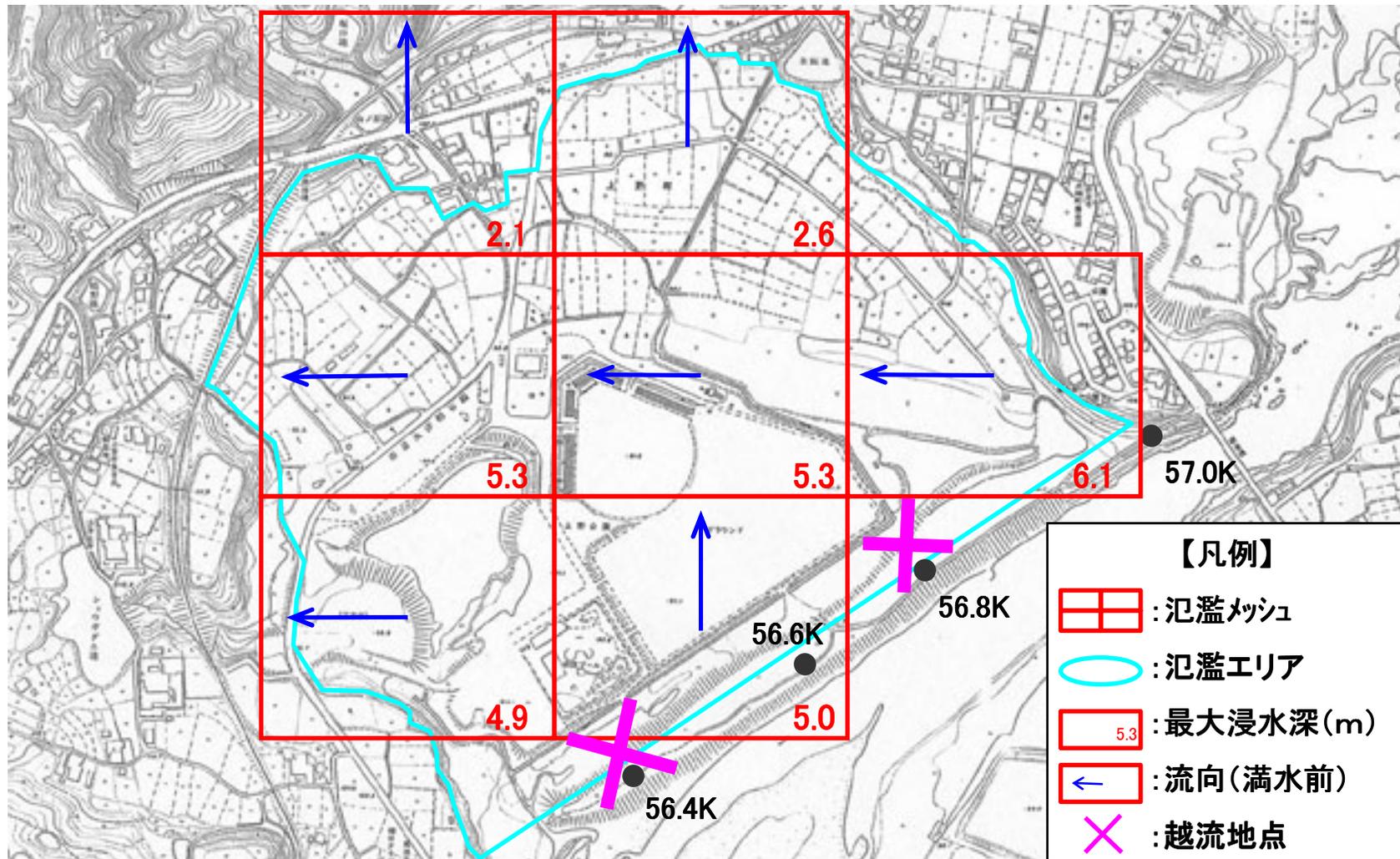
上野地区及び安田嶋地区の対策を施さない場合の氾濫状況は、以下のとおりである。



● 氾濫エリアの詳細

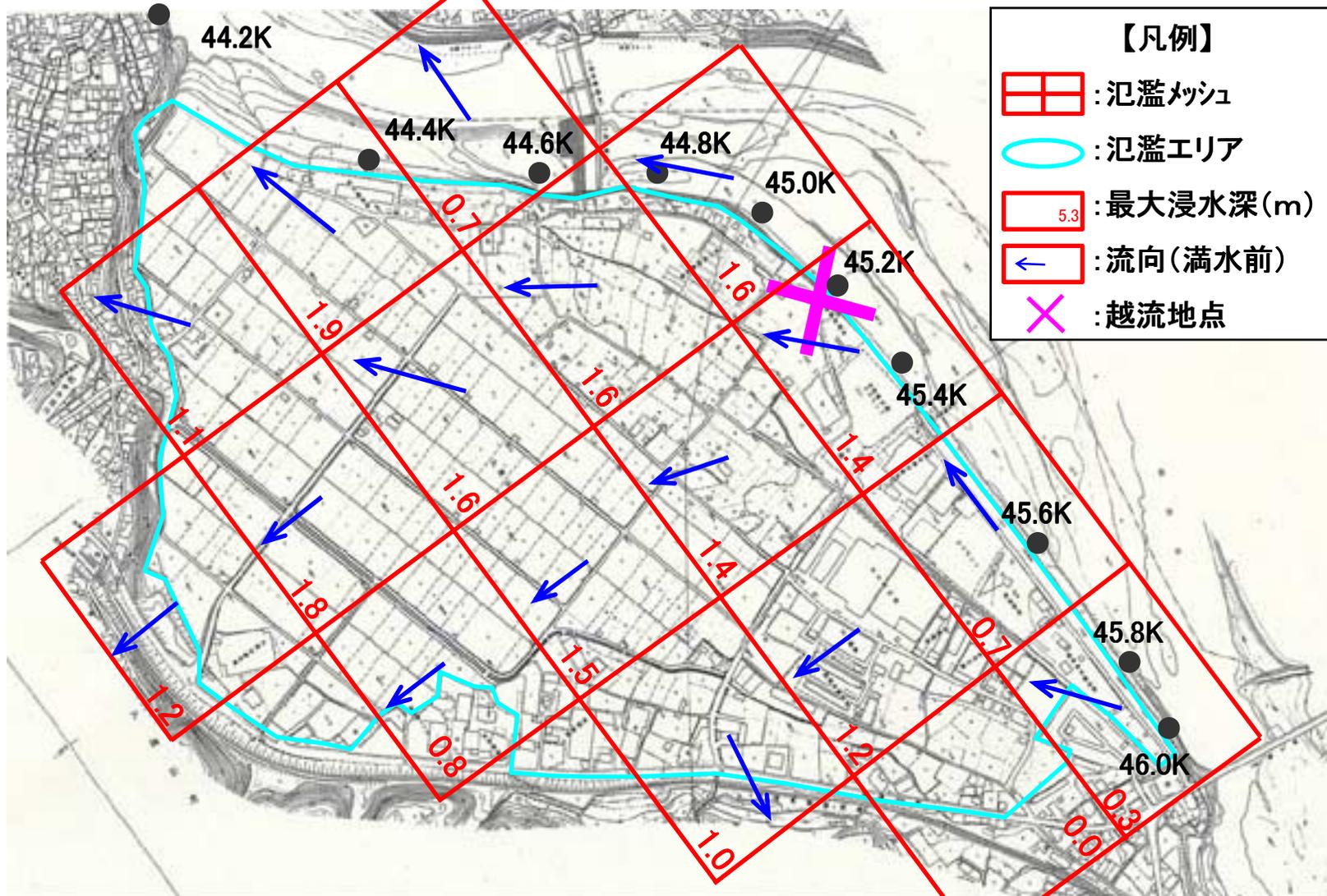
○ 上野地区

上野地区の氾濫範囲、浸水深、流向、越流地点は、以下のとおりと想定される。



○安田嶋地区

安田嶋地区の氾濫範囲、浸水深、流向、越流地点は、以下のとおりと想定される。



●流出低減効果

上野地区及び安田嶋地区の流出低減効果は、以下のとおりである。

(昭和34年9月型洪水(伊勢湾×1.0))

単位:m³/s

	岩出	藤崎	小田
氾濫なし	6,670	6,290	5,920
上野地区	6,650	6,280	5,910
流出低減効果	20	10	10
安田嶋地区	6,590	6,210	5,860
流出低減効果	80	80	60

●問題点の整理

- ・氾濫エリアにおける地権者の同意・協力が必要
- ・土地利用規制が必要(宅地開発の規制)
- ・宅地嵩上げ又は輪中堤等の家屋等を守る施設が必要
- ・家屋等へのアクセス整備が必要